

ふるさと

第37回ふるさとまつりの来場者数は過去最高の3万7千人！



平成24年7月14日(前夜祭)、15日(本祭)の両日、白石区ふるさとまつりが、白石区役所駐車場と区民センターで開催されました。昨年度は雨天のため中止となった前夜祭の盆踊りも、予定通り実施され、子どもから大人まで大勢の来場者に、楽しんでいただきました。22団体の参加による露店や、地元小学生や高校生による吹奏楽演奏、区民による楽しいステージイベントなども行われました。会場内では、子ども遊芽カーニバルやフリーマーケットも同時開催されました。2日間とも晴天に恵まれたこと、前夜祭の開始時間を2時間早めたこともあり、過去最高となる約3万7千人の来場者が会場を埋め尽くしました。

会場が最も沸いたのは、宮城県白石市の片倉鉄砲隊と甲冑武者が参上した場面でした。実物の火縄銃と20キロ以上もある鎧兜を身にまとい、会場内を練り歩き、ステージ上で勇壮な火縄銃演武を披露しました。

今回で37回を迎えた、ふるさとまつり。これまでも増して、白石区の

に認識していただけたのではないでしょう。準備から片づけまで、延べ550名の方々にスタッフとして協力いただきました。本当にありがとうございます。

つなげる笑顔で 輝く未来

今年度のテーマは「伝える つなげる笑顔で 輝く未来」。この白石区で永年培われてきた絆や伝統を、より多くの皆さんに伝えたいの思いと、たくさんの笑顔が集まり、明るい未来を描いていこうとの願いが込められています。

また、ふるさとまつり委員会において「継続すべき」との意見があった東日本大震災被災者支援事業を、前回に引き続き行いました。露店出店者から提供された商品のチャリティー販売売上金、会場内での募金、若者プロジェクトによる宮城県白石市の名酒「蔵王」の売上金など、合計23万1千437円を、白石区へ避難して来られた方々のまつりへの招待費と、白石市復興寄付金に充てさせていただきます。

第25号

2013年1月発行
白石区ふるさと会会報
(年2回発行)

【まつり】
第37回の来場者数は過去最高の3万7千人！ 1面

【歴史】
歴史文化委員会活動報告 2面

【事業】
「白石でっち奉公」
文部科学大臣表彰決定！
子どもワンダーランド
中学生の主張発表会
月寒川にぎわい川まつり 3面
会長あいさつ、寄付者ご紹介等 4面

若者PJ

若者らしい発想と想いを込めて

ふるさと会会員企業の若手社員や学生などからなる若者プロジェクト。今年は「笑顔」をコンセプトに、屋台やイベントを企画してくれました。会場内で一番ステキな笑顔を探す「ピカイチ笑顔を探せ☆」では、会場全体に笑顔が広がりました。



声

被災地から白石区に避難して来られた方々に少しでも地域のにぎわいに参加してもらおうと、昨年に引き続き、約80名をまつりに御招待しました。「避難して来た仲間と楽しめ、本当に感謝している」、「初めて見たが、こんなに盛大に行われていることに感動した」などの声が寄せられました。

会長あいさつ、寄付者の御紹介、会の紹介及び入会案内

会長あいさつ

白石区ふるさと会会長の武藤です。日頃の当会活動にご理解ご協力頂いておりますことに感謝申し上げます。昨年は大きな災害発生もなく平穏でありましたが、政治的には政権交代があるなど大きな変動もありました。

今年度は、当会につきまして白石区役所の発刊冊子白石おもしろい誌「S²(エス・ツー)」や「広報さっぽろ 10月号」に紙面を割いて広報くださいましたことに心から感謝申し上げます。

また、市教育委員会の推薦により当会の白石でっち奉公の事業活動が認められ「文部科学大臣表彰」が決定しました。偏に皆様のおかげと感謝申し上げ、ご挨拶といたします。



平成24年度 寄付者の御紹介

株式会社大安工務店 様 100,000円
札幌白石ライオンズクラブ 様 80,000円

当会にご寄付いただいた皆さまをご紹介いたします。いただいた寄付金は、中学生の主張発表会で、最優秀賞、優秀賞受賞者を宮城県白石市に派遣するなどに活用させていただいたほか、今後実施する事業で活用させていただく予定です。なお、このほかの皆さまからもご寄付をいただきました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

○ 白石区ふるさと会とは

白石区ふるさと会は、白石区を人情味あふれる素晴らしいまちに育てていくことを目的として、昭和51年3月に設立しました。

白石区ふるさと会は、区内の8連合町内会を始め、様々な住民組織、官公庁、企業等の団体会員及び個人会員で構成されており、各地区の文化体育事業、青少年健全育成活動等への助成を行うほか、白石区ふるさとまつりを開催するなど白石区のまちづくりを支えています。

白石区にかかわりのある個人の方、または白石区内でまちづくり活動・企業活動を行う団体であれば、どなたでもご入会いただけます。会員は、会の事業報告(決算)や事業計画(予算)の議事を行う「白石区ふるさと会総会」への出席などを通して、会の活動にご参加いただけます。

○ 白石区ふるさと会への加入及び会費の納入方法

白石区ふるさと会にご加入いただきましたら、白石区ふるさと会会員証(兼年会費領収書)を発行いたします。なお、銀行振込により会費を納入いただいた場合は、会員証は後日発行となります。

〔団体会員：年会費5,000円以上、個人会員：年会費1,000円以上〕

区分	納入先	備考
銀行振込	北洋銀行白石中央支店 普通口座 0381179 白石区ふるさと会 会長 武藤 征一(ムラサキ)	大変恐縮ですが、振込手数料は別途ご負担願います。
事務局への持参	下記(白石区役所2階 総務企画課庶務係)までお願いします。	

<お問い合わせ先>

白石区ふるさと会事務局(白石区市民部総務企画課庶務係)

所在地：札幌市白石区本郷通3丁目北1

電話：011-861-2405

ホームページアドレス：<http://www.city.sapporo.jp/shiroishi/machi/furusatokai/index.html>

現在、歴史文化委員会では、主に2つの活動を行っています。

1. 白石区複合庁舎への郷土資料館設置に向けた取り組み

平成28年度に供用開始予定の白石区複合庁舎への郷土資料館の設置に向けて、歴史文化委員会では、市内の郷土資料館の視察や会議を重ねています。その中で、「郷土資料館設置に係る基本的考え方」(概要は左記点線枠内のとおり)をまとめました。

今後は、より具体的な資料展示や企画展などの実施方法、また、運営方法とそれにかかる費用等を検討、まとめていきます。

郷土資料館設置に係る基本的考え方(概要)

- (1) 設置場所
地下鉄利用者及び庁舎利用者など歩行者通行量が最も多い地下階部分、もしくは、庁舎内で最も区民の利用頻度が高いエントランス空間やゆとり空間がある1階部分への設置を求める。
(2) 規模
100m程度(資料展示部分:70m、資料保管部分:30m)の規模を求める。
(3) 展示
区役所等の通路部分の壁面を利用する部分には、白石の歴史年表や書籍等



説明員の話熱心に聞く委員ら(屯田郷土資料館見学)

これからも白石区をより魅力のある街にするため、郷土資料館の必要性を札幌市に強く訴えていきますので、引き続き、区民の皆様のご理解とご協力をお願いします。

を設置して白石の歴史の流れの概要が理解できるよう展示とすることを求め、その展示の連続する部分に設置する資料館では、これらの内容を掘り下げて、より深い理解へと繋がるような郷土資料を展示する。

(4) 費用
建築費、備品、展示用製作物などに係る初期費用のほか、運営費用として、光熱水費や企画展費用、説明員配置の場合の費用などを検討していく。
また、相当程度かかると見込まれるこれらの資金は、寄付金等によらなければ準備できないことから、その集め方についても検討していく。

2. 片倉鉄砲隊札幌分隊の結成に向けた取り組み

昨年度、白石区ふるさとまつりに初お目見えし、非常に好評を博した片倉鉄砲隊ですが、区民に「より目に見える形で、白石の歴史を伝えていきたい」という思いから、この片倉鉄砲隊を白石区でも結成しようという声が上がりました。

このため、歴史文化委員会では、札幌分隊結成に向けた取り組みを進めることにしました。

今年度は、5月3日に、板垣俊夫白石区ふるさと会幹事長及び中村千春歴史文化委員会委員の2名が、宮城県白石市を訪れ、片倉鉄砲隊に入隊し、砲術の基礎や心得を学んできました。

また、両名は、10月6日、片倉鉄砲隊の火縄銃演武が行われる「第5回鬼小十郎まつり」に同隊の一員として参加するため、同市を訪問しました。今後も札幌分隊の結成を目指して準備を進めていきますので注目してください。



砲術の基礎を学ぶ(5月3日)



片倉鉄砲隊の一員として参加(第5回鬼小十郎まつり)



片倉鉄砲隊の火縄銃演武(第5回鬼小十郎まつり)



前日リハーサルに参加(第5回鬼小十郎まつり)

「白石でっち奉公」文部科学大臣表彰決定!

まちづくり団体としては札幌初



白石区ふるさと会は、「次代の白石を担う子どもたちに働くことの楽しさ、ふるさと白石の良さを知ってほしい」という思いから平成13年度に「白石でっち奉公」を始めました。当初、2校の70人でスタートしたこの事業は、会員の皆様を始め、地域全体のご支援をいただき、今年度は区内全中学校8校、小学校2校の約千600人が参加し、約200事業所の受入協力により実施される大きな事業となりました。

この事業が、子どもたちの「キャリア教育の充実」に功績があると認められ、平成24年度文部科学大臣表彰に当選が選ばれました。これからも白石でっち奉公を充実させていきたいと考えておりますので、引き続きご協力をよろしくお願いたします。

白石でっち奉公・受入企業募集中

地域の子どもの地域で育てる子どもたちにとって、普段、学校や家庭ではできない貴重な経験となります。一日就労体験にご協力いただける事業主様は、白石区ふるさと会事務局までお気軽にお問い合わせください!

～遊びを通して国際交流～ 子どもワンダーランド



子どもたちに、外国からの留学生やJICA札幌の研修員と遊びながら楽しく国際交流をしてもらいたい。そのような思いから、白石区ふるさと会では、毎年「白石区子どもワンダーランド」を開催しています。今年度は6月23日に開催し、区内の子どもたち約150人が楽しい時間を過ごしました。

留学生や研修員は、18力国から26人が参加。まず始めに外国の人の母国語を交えた自己紹介を聞き、国ごとに様々な違いがあることに、子どもたちは興味津々な様子。始めは緊張気味だった子どもたちも、じゃんけん列車やさるそばドリブルリレーなどのゲームで徐々に打ち解け、サイン会・おやつタイム・ダンスの時には笑顔いっぱいになって仲よくなって交流しました。参加した外国の人や子どもたちからも「楽しかった」という声が多く、保護者にも「みんな生き生きしていた」と喜んでいただけました。

川で遊ぶ機会を 子どもたちに

白石区ふるさと会などで構成する実行委員会が毎年夏に開催している月寒川にぎわい川まつりは、今年度で17回目になります。今年度は7月21日に開催。当日は絶対のお祭り日和で、昨年度を大きく上回り、親子連れなど約800人が参加しました。

子どもたちは「月寒川探検隊」として、元気に川を探検。魚のつかまえ方を教えてもらい、たも網でトミヨウグイをすくうと、「いっぱい



「月寒川探検隊」の様子

捕れた!」など歓声があちこちであがりました。他にもチューブ乗り、カヌー、水車発電実験など、様々な川遊びに挑戦し、夏の一日を自然の中で楽しく過ごしました。

熱弁・力説堂々

10月20日白石区民センターで、「白石区中学生の主張発表会」を開催し、後日、ケーブルテレビヒジエイコム札幌で放送されました。これは、自ら考え発表する力を



2年生の部最優秀賞 東白石中学校 田野 優奈さん

第43回中学生の主張発表会

養ってもらおうと、昭和45年から始まった歴史ある大会で、今回が43回目になります。区内全ての中学校から代表生徒が出場したほか、宮城県白石市からも仙南弁論大会の優秀生徒を招待し、合計18名が観客の前で熱弁をふるいました。主張作品の中には、「外国でのホームステイで考え方が一変した」などの発表があり、実体験に基づく主張が力強く披露されました。3年生の部の最優秀賞塚野育穂さんと優秀賞及川祥君は、宮城県白石市へ派遣され、白石市立白川中学校で交流するなど、白石区と白石市の友好を更に深めることができました。